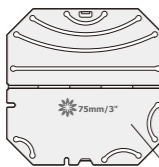


つまみ細工プレート

剣つまみ

作り方説明書



この説明書は、57-453 < 剣つまみ S > 57-454 < 剣つまみ L > 共通です。  
※ イラストは、< 剣つまみ L > で説明しています

プレート

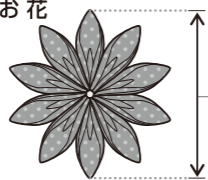
はじめに...

1枚の布から花びら1枚が作れます。花びらを数枚縫いつなぐと、お花ができあがります。お好みで花びらの数を調節して下さい。

花びら



お花

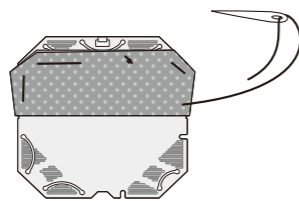


<S> 約 5cm  
<L> 約 7.5cm

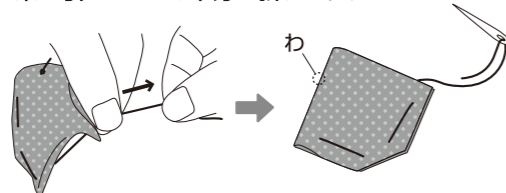
※ 使用する布で作る花びらの枚数によって変わります

③ プレートはずし、花びらの形を整えます。

① プレートはずします。



② 糸を引きしめて、半分に折ります。



半分に折れました。

③ さらに糸を引きしめてひだをよせます。

花びらのできあがりです。



玉結びが左にくる方が表です

<表>

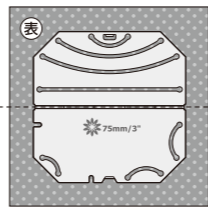
<裏>

① プレートに布地をはさみ、カットします。

① プレートを布地にかさね、折り込みます。

布の用尺  
<S> 約 7cm 角  
<L> 約 9.5cm 角

※ 布地にしわがよらないように気付けます



② プレートの端の突起部で布地をはさみ、固定します。

プレートの端の突起

※ 布地によっては、プレートが開いてくる場合があります。その場合は、手で押さえながら使います。

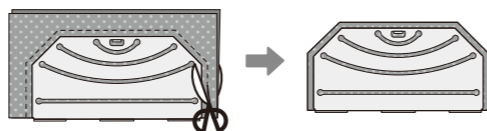


プレートの奥までしっかり布をはさみます

③ プレートに沿って、布地を切り抜きます。

※ ぬいしろは必要ありません

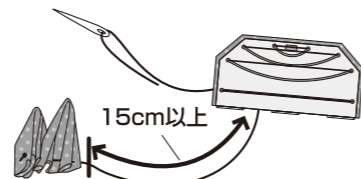
布地を切り抜きました。



④ 続けて花びらを作り、お花を作ります。

① 同じ糸を使って、①～③をくりかえし、必要な数の花びらを作ります。

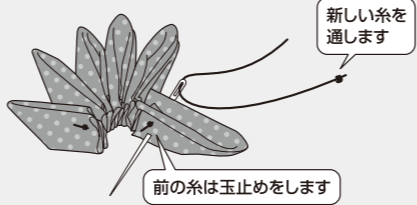
糸がからまらないように、できあがった花びらとプレートを15cm以上離します。



※ 糸がからまった場合は、針をはずし糸をほどいてやり直します。

糸が途中で足りなくなったら...

糸が途中で足りなくなった場合は、糸を引きしめて玉止めをします。最後に作った花びらの根もとに新しい糸を通し、続けて花びらを作ります。



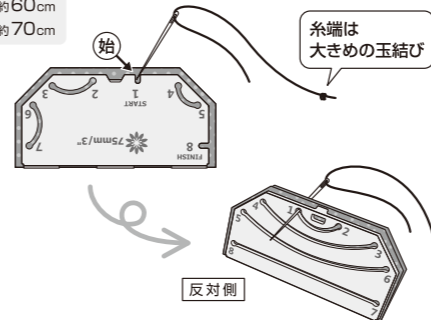
新しい糸を通します

前の糸は玉止めをします

② プレートの番号順に、長穴に糸を通します。

① 裏返して「1 START」位置の穴に針を入れ、反対側の長穴の「1」位置に針を出します。

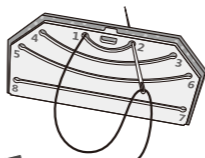
糸の長さ  
<S> 約 60cm  
<L> 約 70cm



糸端は大きめの玉結び

反対側

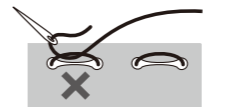
② 同じ長穴の「2」位置に針を入れ、糸がたるまないように引きます。



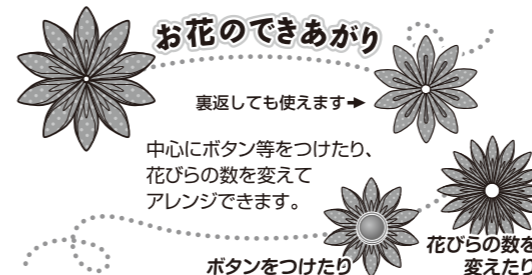
※ 糸を引きしめすぎて、プレートにはさんだ布をずらさないようご注意ください。

注意!

糸がたるんでいると、糸がからまる原因になります。



② 最初の花びらの根もとに針を通し、糸を引きしめ、玉止めをします。



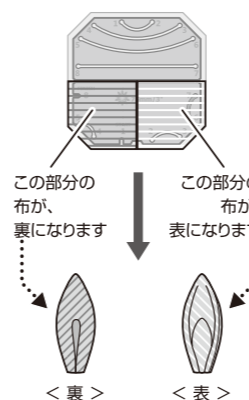
お花のできあがり

裏返しても使えます→

中心にボタン等をつけたり、花びらの数を変えてアレンジできます。

ボタンをつけたり 花びらの数を変えたり

柄合わせをしたい場合



この部分の布が、裏になります

この部分の布が、表になります

<裏>

<表>

布目の方向を変えると...

布目の方向を変えると、できあがる花びらの開き具合が変わります。



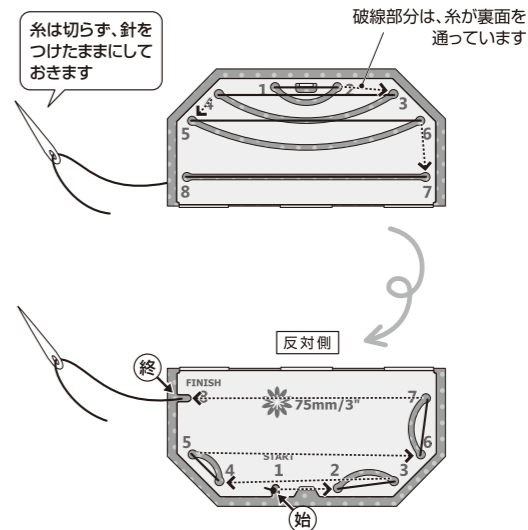
布目

矢印の方向に布目を合わせると...

布地によっては、花びらが大きく開きます。お好みで使い分けて下さい。

③ 続けて、番号順に長穴に糸を通していきます。

※ 順番を間違えた場合は、針をはずし糸をほどいてやり直します。



糸は切らず、針をつけたままにおきます

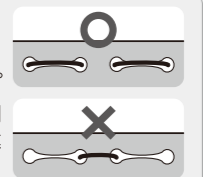
破線部分は、糸が裏面を通過しています

反対側

☑ チェックポイント

縫い目は長穴の内側を通ります。

縫い目がプレートをまたいで、別の長穴に通っている場合は間違いです。



準備する材料 (10枚の花びらのお花を作る場合)

<規格>	<S>	<L>
花びら1枚分の布の用尺 × 花びらの枚数 (10枚)	約 7cm 角 × 10枚	約 9.5cm 角 × 10枚
糸の長さ ※ キルト糸などの丈夫な手ぬい糸	約 60cm	約 70cm

○ 適する布

薄地～普通地のやわらかい布

シーチング、ブロード、サテン、ちりめん、オーガンジー、シフォン、薄地ウール など

✕ 適さない布

中厚～厚地、硬い布、目の粗い布

デニム、キャンパス、フェルト、厚地ウール、コーデュロイ、パイル、ニット地、皮革及び合成皮革、コーティング加工布、レース など

使用上の注意

- ・ 本体は高温により変形しますので、アイロンなどのご使用はお避け下さい。
- ・ 過度の力が本体に加わると破損・変形の原因となりますので、厚地や硬い布地のご使用はお避け下さい。
- ・ 長期間使用しない場合は、布地をセットしない状態で保管して下さい。